

4

図1は、ボーリング調査が行われた3つの地点A、B、Cとその標高を示す地図であり、地点A、Bは東西方向の一直線上に、地点B、Cは南北方向の一直線上にある。図2は、図1で示した各地点の柱状図である。これについて、あとの問いに答えなさい。ただし、この地域の各地層には上下の逆転や断層は見られず、ある一定の方向に傾いている。また、柱状図に示した火山灰の層は、それぞれ同じ時期の火山の噴火によって堆積したものである。

図1

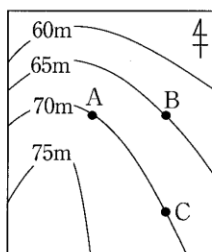
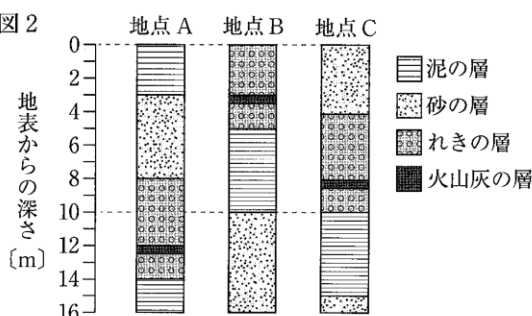


図2



- (1) 図2で、地点Aの火山灰の層が堆積したあと、泥の層が堆積するまでの地層の重なり方から、海の深さはどうなっていったとわかるか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 浅くなっていった。 イ 深くなっていった。
ウ 浅くなったあと、急に深くなっていった。 エ 深くなったあと、急に浅くなっていった。
- (2) 図2の地点Aのれきの層には、石灰岩とチャートのれきが含まれていた。次のうち、石灰岩とチャートの説明として適当なものはどれか。2つ選び、記号で答えなさい。
- ア 石灰岩とチャートは、どちらも生物の死がいなどが堆積してできたものである。
イ 石灰岩とチャートをこすり合わせると、傷がつくのはチャートの方である。
ウ 石灰岩は赤色、チャートは白色であり、色で区別することができる。
エ 石灰岩はうすい塩酸をかけると気体が発生するが、チャートは気体が発生しない。
- (3) この地域の火山灰の層から黒っぽい火山灰が採取できた。この火山灰を別の地域で採取した白っぽい火山灰と比べた。これについて次の各問いに答えなさい。
- ① 黒っぽい火山灰は、白っぽい火山灰よりも有色鉱物を多く含んでいた。次のうち、有色鉱物はどれか。適当なものをすべて選び、記号で答えなさい。
- ア キ石 イ セキエイ ウ カンラン石 エ チョウ石
- ② 次の文は、黒っぽい火山灰をふき出した火山について説明したものである。文中の「 」にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。
- 黒っぽい火山灰をふき出した火山の方が、白っぽい火山灰をふき出した火山より、マグマのねばりけが_a「ア 弱い イ 強い」。そのため、黒っぽい火山灰をふき出した火山の形は_b「ア 盛り上がった形 イ 傾斜がゆるやかな形」であると考えられる。
- (4) この地域の地層はどの方向に向かって低くなっているか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 東 イ 西 ウ 南 エ 北

- (1) 図2より、地点Aではれき、砂、泥の順に堆積している。粒の大きさは、れき>砂>泥である。粒が小さいものほど河口から遠く、水深が深いところに堆積する。
- (2) 石灰岩とチャートは色で区別することができず、こすり合わせると石灰岩に傷がつく。
- (4) 火山灰の層の上面の標高は、地点Aは(70-12=)58m、地点Bは(65-3=)62m、地点Cは(70-8=)62mなので、南北方向には傾いておらず、西に向かって低くなっている。

(1)	イ	16
(2)	ア, エ 順不同完答	
①	ア, ウ 順不同完答	
(3)	②	a ア b イ 完答
(4)	イ	20